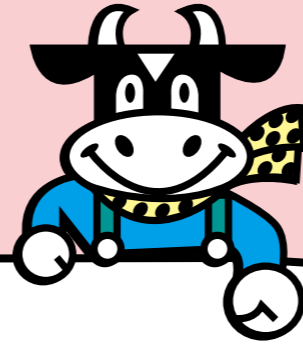


ワンポイント・アドバイス



「お腹いっぱい」のサイン

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。今年も共済組合の活動にご理解とご協力の程何卒よろしくお願い致します。

早速本題に入らせて頂きますが、皆様のお宅の牛達はお腹いっぱいご飯を食べているでしょうか？…とは言っても真の答えは牛のみぞ知る、といった所ですので実際皆様がこの質問に回答される場合、牛達の様子を観察して判断するしかないと思われれます。そこで判断材料の一つとなるのが「第一胃の張り具合」です。ちなみに、餌の量が不足していても結局飼槽は空になるので、「餌を残さず食べている＝お腹いっぱい」とは必ずしも言えません。

話を戻しますが、第一胃は成牛のお腹の大部分を占める臓器で、食べた飼料は一旦ここに蓄えられます(図)。第一胃には多数の微生物(細菌など)が住んでおり、その微生物が飼料を分解した時に発生する物質の一部は牛の栄養源となります。

す。当然、お腹いっぱい餌を食べた方が栄養状態も良くなりますので、第一胃に餌が詰まっている牛の方が基本的に健康であると言えます。ただし、妊娠末期はお腹の子牛が大きくなつてきて第一胃を圧迫するので、健康な牛でも採食量が徐々に減少して第一胃は小さくなつてしまします。

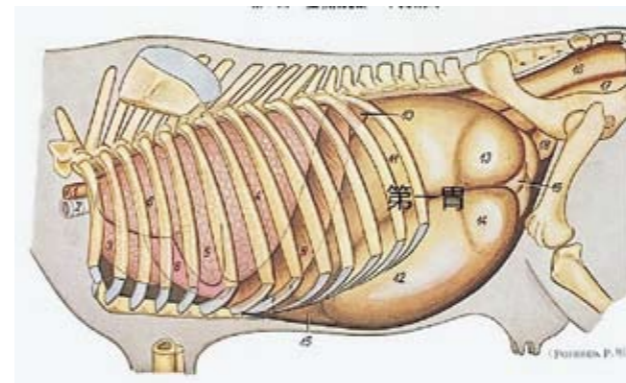
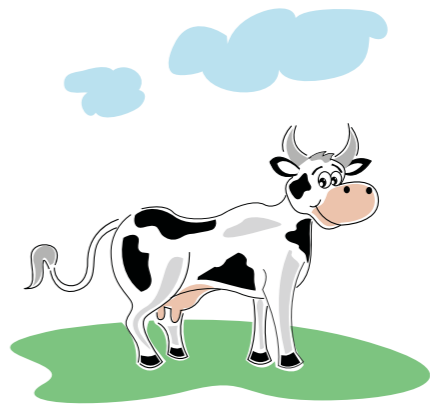


図 左側から見た内臓の配置 (腹部はほぼ第一胃しか見えない)

では実際に「第一胃の張り具合」を判断する方法ですが、2つのポイントがあります。それが「左臍部」と「後ろ姿」です。

まず「左臍部」ですが、左側の肋骨や腰角等の骨に囲まれた腹部の凹みの部分(写真1)を指します。分娩直後はここが窪んではつきりとした三角形に見える牛がほとんどですが、その後餌をたくさん食べて第一胃が大きくなっていく内に次第にお腹が膨らんできて三角形が不明瞭になります。逆に分娩後1〜2週間経過



してもここが三角形に見える場合、その牛は十分に餌を食べていない可能性がありますが(あるいは、何か病気を患っているかもしれない)。ちなみに、健康だった牛が食欲不振になってしまった場合、1日前後で左臍部が凹み三角形が現れます。



写真1 〇部を左臍部という

次に「後ろ姿」ですが、餌をしつかり食べている牛は写真2・3の矢印が示すように後ろから見たときにお腹が左右に出っ張って見える様になります。反対にお腹が出っ張っていない牛は、少なくと

も1週間以上十分に餌を食べていない可能性があります。もし乾乳牛がこの状態だと、その牛は分娩後に病気を患う確率が非常に高くなる事が分かっています。

〈乾乳牛の後ろ姿〉

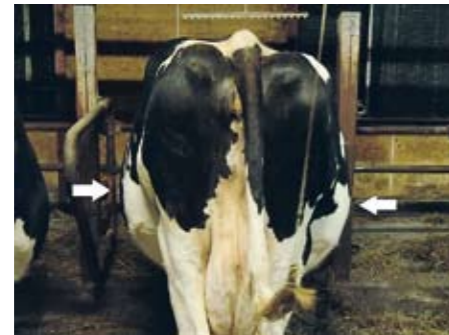


写真3 下腹が出ている牛



写真2 下腹が出ていない牛

これらのポイントに気を配る事で、調子の悪い牛を早期に発見したり、牛群全体が十分に餌を食べているかチェックすることもできます。もしお腹の張っている牛が少なく感じられた場合、対策を講じることで病気や繁殖障害が減少することがあります。もちろん天候の影響でベストな状態の粗飼料を確保する事が出来ない事も多々あると思いますが、仮に餌の量・質が理想的だとしても、実に様々な理由で牛達は十分に餌を食い込むことが出来なくなります。興味のある方は実際に牛達を観察して頂いて、そこで何か疑問が生まれましたら獣医師に相談してみてください。